

<空の安全・安心を！ 整理解雇四要件を守れ！>

京都のつばさ

街頭宣伝用ニュース

第7号

2012.3.19

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都 5F 京都総評気付Tel.075-801-2308



JAL 不当解雇撤回で安全な空を！

「利益なくして安全なし」と国民の命の格安化をめる稲盛和夫名誉会長



「私たちは昨年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 148 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。」

We are 148 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve last year.

We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12월 31일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 148명입니다.

부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다.

여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

京セラ本社で要求書提出・京都総行動 大衆行動を嫌悪するJAL稲盛名誉会長

2月2日京都総評主催で「2012年春、労働争議支援京都総行動」が実施された。その中で京都市伏見区の京セラ本社に出向いた。私たち京都支援共闘も全面的に取組み参加を呼びかけた。そして解雇の首謀者であるJAL稲盛和夫名誉会長宛「165名の不当解雇を直ちに撤回せよ」との要求書を手渡した。

交渉に応じた京セラの労担は様々な文書やホームページ、裁判資料に目を通し、京都支援共闘の京都駅前月例宣伝行動や大衆行動をすべてマークしているらしく、コメントする。「もううちの京セラは関係ありません。原告団の皆さんは全員どうぞお入り下さい。支援組織は代表一名だけです」と分断も図る。「うちも迷惑していますので、早くこの争議終わってほしいです。原告団の皆さんはご苦労さんです」と、昨年6月に京都支援共闘結成以来の宣伝行動などを本当に嫌がっている様子が明らかとなった。それも、JAL稲盛和夫名誉会長は2年連続の1800億円黒字を花道に、先般の臨時株主総会でJALの「名誉会長」職になってこの争議から逃げようとしていることも明確となった。JAL客乗原告団の杉山事務局長は、「今年度JALは400億円も黒字を上積みして、新人50人の客室乗務員を採用した。3月末の裁判は是が非でも勝って、職場に戻る」と決意を表明し、京セラ百メータービルに向けたシュプレヒコールを全員で唱和した。



JAL不当解雇撤回裁判

東京地裁

判決日

3月29日(パイロット)

3月30日(客室乗務員)

稲盛名誉会長はJAL 165名の不当解雇を撤回せよ！